

重点取組分野	令和 4 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
学習指導	①主体的な学びの推進と生徒一人ひとりの持ち味を活かせる授業づくり ②主体的に学習に取り組む態度を育成するために、老松GIGA施策を推進	○個々の主体的な学びを意識した授業実践を各教科で行った。○老松GIGA施策を継続的に実践し、全教科でのICTを活用した学習活動を実践している。	A
人権教育・道徳教育	①生徒・教職員の人権意識・人権感覚の更なる向上 ②多様性・個々の持ち味・特性を尊重する生徒を育成する人権教育・道徳教育の実践	○人権研修や道徳授業、講演会等を活用し、生徒・教職員の人権意識のさらなる向上を図った。	A
食育・健康教育	①主体的な体力向上を目指した、持続可能な体育行事の実施と体力向上一校一実践の推進 ②健康な心身構築を目指し、中学校給食・食育の推進	○体力向上に向けた取組を保健の授業中心に展開した。○来年度の給食推進校に向けて、日々の昼放送で食材やメニューの紹介による食育や給食喫食推進を行った。○自校の課題に着目し、学校保健委員会による健康教育の推進を図った。	A
キャリア教育	①生徒一人ひとりが、自己理解と他者理解を通じ社会的自立を目指すキャリア教育の推進 ②生徒が、自分の生き方に迫り、かつ主体的に取り組む学習活動の展開	○3年ぶりに職場体験を実施し、より社会的自立を目指す実践教育ができた。○職場体験の事前事後学習を通して、自己の生き方に目を向け、主体的に取り組む学習活動を展開した。	B
いじめへの対応	①いじめを許さない学校風土づくり、いじめ防止対策委員会を軸にしたチームによる対応・支援の推進 ②SC・SSWの活用と連携 ③さまざまな人権学習・国際理解学習の実践	○いじめ防止対策委員会や生徒の情報交換を定期的に行い、学年だけでなく、学校全体で把握し、生徒を組織的に見守る態勢を図った。○SC・SSWと連携した。○講演会等を通して、人権・国際理解の学習の実践をした。	B
人材育成・組織運営(働き方)	①校内OJT及び各ステージ研修による教師力・学校力の向上 ②持続可能な教育活動・学校行事の実現、メール配信活用、調和の取れた働き方の実現(教職員の心と体の健康) ③全ての教職員が強み弱みを共有し、個々に持ち味を発揮し輝ける組織マネジメント	○校内での研修機会の場の設定を明確にする必要がある。OMK5(定時退勤)の実践を促し、心身の健康を意識した働き方改革への意識を高めた。○個々の強み弱み、持ち味を共有し、一人ひとりが輝ける組織作りを推進した。	C
地域学校協働活動	①地域学校協働本部を核とした、各種学校行事・学習活動への教育支援ボランティアの導入の推進 ②学校運営協議会委員による、各種学校行事・学習活動の視察と都度都度の教育活動評価の実施	○教育支援ボランティアを多く活用し、教育活動の充実を図ることができた。○学校運営協議会委員による授業や行事の参観によって、学校評価を実施し、教職員の授業実践などの改善を図る機会となった。	B
生徒指導	①定期的及び機会を捉えた教育相談・YPアセスメントを活用した生徒の状況とニーズの把握と生徒理解の推進 ②眼前の生徒・保護者に向き合い、その心情にしっかりと寄り添った支援・指導の実施 ③生徒の自己伸長を促すために、生徒会活動による生徒の主体的な取組の推進	○定期的な情報共有を図り、様々な視点からの生徒理解を推進した。○定期的な教育相談だけでなく、日常の見守りからの声掛けや保護者との連携、教職員間の情報共有を意識した。○縦割り活動など、生徒会を中心に、主体的な取組を行った。○校内ハートフルの活用が増加傾向にあり、整備・改善を図った。	B
#REF!	#REF!		
#REF!	#REF!		
ブロック内評価後の気づき	今年度は公開授業や職員研修、部活動見学を行うことができた。小中一貫教育推進ブロックの共通目標「基礎学力の向上と基本的な生活習慣を培う小中連携のあり方(学力の向上と児童生徒指導の充実)」について、小中での共通の取組を「朝読書」「挨拶運動」「縦割り活動」として、一貫した取組を充実させることができた。各研修で反省はあるものの、久々の開催で充実した活動ができた。		
学校関係者評価	・学校運営協議会委員より、参観・協議会を経て、書面で厳正かつ的確な評価と前向きなご意見をいただいた。 ◎意見交換できる場が少なく感じ、参観後などでの意見交換の機会があると良い。 ◎いじめに対する生徒の意識は昨年に続き、向上している。生徒の特性をよく捉えた丁寧な支援体制が回わります。 ◎生徒アンケートで「先生は一人ひとりのことをよく見ている」がほとんどの学年・クラスで「3.5以上」のことから、生徒に合った授業をされ、学力も身につけていると思います。 ◎生徒アンケートに「落ち着いた学校生活が送れている」といった項目があり、3年生は全員「思う」になっていてとても感謝しています。		

中期取組目標振り返り	変わりゆく情勢の中で、あらゆる教育活動を前進させながら実施した。そんな中で、老松GIGAスクール施策は研修会や教職員間の情報共有などで更なる教職員の意識を高め、生徒にとってもより主体的な学びの実現を推進させた。引き続きわかる授業や基礎基本の定着を図るよう指導の工夫改善をしていきたい。文化祭では新たな形であるクラス発表を取り入れ、生徒一人ひとりが考え、知恵を出し合い、共有しながら生徒が主体の活動として、高い教育的効果を生み出すことができた。また、地域の教育力(教育実践ボランティアなど)をさらに充実させ、学校全体で教育力の向上を図ることができた。
------------	--

重点取組分野	令和 5 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
学習指導	①主体的な学びの推進と生徒一人ひとりの持ち味を活かせる授業づくり ②主体的に学習に取り組む態度を育成するために、老松GIGA施策を推進		
人権教育・道徳教育	①生徒・教職員の人権意識・人権感覚の更なる向上 ②多様性・個々の持ち味・特性を尊重する生徒を育成する人権教育・道徳教育の実践		
食育・健康教育	①主体的な体力向上を目指した、持続可能な体育行事の実施と体力向上一校一実践の推進 ②健康な心身構築を目指し、中学校給食・食育の推進		
キャリア教育	①生徒一人ひとりが、自己理解と他者理解を通じ社会的自立を目指すキャリア教育の推進(職場体験日数の増加) ②生徒が、自分の生き方に迫り、かつ主体的に取り組む学習活動の展開		
いじめへの対応	①いじめを許さない学校風土づくり、いじめ防止対策委員会を軸にしたチームによる対応・支援の推進 ②SC・SSWの活用と連携 ③さまざまな人権学習・国際理解学習の実践		
人材育成・組織運営(働き方)	①校内OJT及び各ステージ研修を中心に老松メンバーを含めた教師力・学校力の向上 ②持続可能な教育活動・学校行事の実現、メール配信活用、調和の取れた働き方の実現(教職員の心と体の健康) ③全ての教職員が強み弱みを共有し、個々に持ち味を発揮し輝ける組織マネジメント		
地域学校協働活動	①地域学校協働本部を核とした、各種学校行事・学習活動への教育支援ボランティアの導入の推進 ②学校運営協議会委員による、各種学校行事・学習活動の視察と都度都度の教育活動評価の実施		
生徒指導	①定期的及び機会を捉えた教育相談・YPアセスメントを活用した生徒の状況とニーズの把握と生徒理解の推進 ②眼前の生徒・保護者に向き合い、その心情にしっかりと寄り添った支援・指導の実施 ③生徒の自己伸長を促すために、生徒会活動による生徒の主体的な取組の推進 ④誰一人取り残さない教育の実現を目指した特別支援教育の推進(校内ハートフルの活用)		
#REF!	#REF!		
#REF!	#REF!		
ブロック内評価後の気づき			
学校関係者評価			

中期取組目標振り返り	
------------	--

重点取組分野	令和 6 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
学習指導	c1		
人権教育・道徳教育	c2		
食育・健康教育	c3		
キャリア教育	c4		
いじめへの対応	c5		
人材育成・組織運営(働き方)	c6		
地域学校協働活動	c7		
生徒指導	c8		
#REF!	c9		
#REF!	c10		
ブロック内評価後の気づき			
学校関係者評価			

中期取組目標振り返り	
------------	--